



HAKUOH



NEWS VOL. 22

発行/白鷗大学 小山市大行寺1117 TEL: 0285-22-1111 http://hakuoh.jp

2面 ハクオウスポーツ「卒業生リオへ！」他

3面 平成27年度決算報告

4面 水害からの復旧、東キャンパス新校舎建設、教員人事

結城市と包括連携協定 — 県内3高校とも高大連携 —

調印後、記念撮影する
上岡條一理事長(右)と
前場文夫結城市長



3月16日、
本学は茨城県結
城市と連携に関
する協定を締結
し、同時に教育
学部と同市教育
委員会も連携
協定を締結し
た。結城市と
はこれまでに
も「ふれあい出
前講座白鷗大学
編」や各種委員
の委嘱などを
行ってきた。今
後は、包括的に

連携することにより内容を
充実させていく予定。
また同日、栃木県立鹿
沼高等学校(上田裕司校
長)と高大連携協定の調
印式を執り行った。連携
内容は、大学の授業への
特別聴講学生としての受
け入れや双方の教員によ
る教育についての研究交
流、鹿沼高校での学校イ
ンターシッピングなど。相
互に交流を深めることで
教育内容のさらなる充実
を図り、地域社会や国際
社会に貢献できる人材育

成をめざす。
さらに6月22日、栃木
県立小南山高等学校(増
淵正典校長)と栃木県立
小南城南高等学校(渡辺
敏男校長)とそれぞれ
高大連携協定を締結し
た。これまで、同2校と
は教育学部が高大連携協
定を結んでいたが、今回
は経営学部・法学部を含
めた大学全体との協定締
結となり、より発展的な
連携を深めることができ
ると期待している。

イギリスとアメリカの大
学の主流は、リベラル・
アーツ教育システムを基軸
に据えてエリート養成をめ
ざしています。加えて、そ
こではスポーツが重視され
ています。白鷗大学もまた
その方向をめざしています。
では、リベラル・アーツ
教育とは何でしょう。誤解
を恐れず一口でいうと、
大局観と行動力を身に付け
させる教育システムを言
います。そのために、本学で
は学部を超えて英語教育と
スポーツを重視しておりま
す。知性は行動力のバネに
よって強められるからで
す。また、それによって、

それゆえ、問題はこれか
らの30年、つまりセカン
ド・ステージ(セカンド・
ジェネレーション)とい
うことになり、しかも、
その方向性は明快です。
本学のモットーが「プル
ス・ウルトラ(さらに向
こうへ)」であるように、創
設者上岡一嘉の志を受け継
ぎ、これまでの歩みをさら
に強めることであるとい
語に尽きます。つまり、本
学の位置する北関東とい
地域にとつしりと根づきな
がら、国際的視野をしっか
りと身につけた平成の「坂
東武者」の養成であります。
そのためには、白鷗大学
の社会貢献はまず地域貢献
から始めねばなりません。
その手始めが「地域連携・
高大接続」であることはい
うまでもありません。ま
ず、「地域連携」は、大学
の社会貢献の典型であり、
大学のもつ教育力のエクス
テンションであつて、とり
わけリベラル・アーツ教育
システムを重視している白
鷗大学にとっては、地域の
「生涯学習センター」機能

をもつ地域拠点となること
は設立の当初から予定され
ていたことであるといつて
もよいのです。また、「高
大接続」についても、附
属高校として「白鷗大学足
利高等学校」をもつ本学に
とつては、むしろ本来の活
動の一環であるといつてよ
いでしょう。それゆえ、本
学にとつては地域密着の社
会貢献活動の一環として、
とりわけ、教育学部や経営
学部が活躍する場でもあり
ます。

いづれにしても、白鷗大
学はこれからも、坂東武者
を産み出したこの北関東の
大地にしっかりと根づきな
がら、国際的行動力をもつ
知的エリートを養成する、
いわばグローバルな視野と
ローカルな行動力をもつ
「グローバル大学」として
セカンド・ステージを迎え
たところであり、どう
かこれからのさらなる力強
い飛翔にご注目とご期待を
願います。



存在感と一体感のある
大学をめざして 学長 奥島孝康

対外的には大学の存在感を
高め、対内的には学生教職
員間の一体感を強めること
にもなるからです。
建学100年、大学創設
30年という歳月は、白鷗
大学の社会的にずつしりと
した存在感を次第に強めて
きましたし、各種スポーツ
の活躍は、鷗友会をも巻
き込んで白鷗大学という知
的共同体の一体感を着実に
強めてきており、地方大学
には珍しい全国的な知名度
を高めてきております。つ
まり、白鷗大学のこれまで
の歩みは、ファースト・ス
テージ(ワン・ジェネレー
ション)としては、徐々に
効果を上げ、作戦的には成
功したと考えてよいでし
ょう。

をもつ地域拠点となること
は設立の当初から予定され
ていたことであるといつて
もよいのです。また、「高
大接続」についても、附
属高校として「白鷗大学足
利高等学校」をもつ本学に
とつては、むしろ本来の活
動の一環であるといつてよ
いでしょう。それゆえ、本
学にとつては地域密着の社
会貢献活動の一環として、
とりわけ、教育学部や経営
学部が活躍する場でもあり
ます。



1240人の新入生を迎え入学式

4月2日、桜が
満開の中、平成28
年度入学式が本
キャンパス第一
体育館にて挙行さ
れた。奥島孝康学
長は「社会人とし
て、これからの歴
史を創る役割を担
うために大学で学
ぶのです。しっか
り学び、生涯の師
と生涯の友をつく
り、スポーツにク
ラブ活動に大いに
汗をかいてください」と
大学院生を含む1240
人の新入生を激励した。

学位記・卒業証書 974人に授与

3月19日、第一体育館で
平成27年度白鷗大学学位
記・卒業証書授与式が挙行
され、974人の卒業生が
本学から飛び立っていつ
た。大学院、学部卒業生の
各代表者に奥島孝康学長よ
り証書が授与されたほか、
卒業生代表挨拶、ハンドペ
ルクワイアによる祝典演奏
などが行われた。

就職率 過去最高の97.3%

教員採用試験 122人が合格!

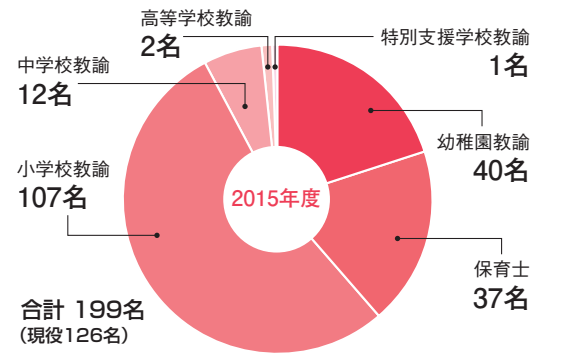
公務員 法学部生を中心に73人が合格

また、公務員試験では国家
公務員を含む73人が合格。
栃木県警察本部をはじめ警察
官35人、県市町村職員29人、
消防士7人であった。キャリ
アサポートセンター(旧・
進路指導部)の小室正男部長
は「今年度から公務員支援室
を新設し、公務員採用試験に
さらに力を入れて専門的なサ
ポートを行っていきたい。」
と意気込みを語った。

2015年度の就職率は
97.3%と、過去最高で
あった昨年度の96.2%を
上回る結果となった。また卒
業生に占める就職者の割合
は86.3%と、全国平均の
72.0%を大きく上回った。
2015年度の教員採用試
験合格者(臨時的任用除く)
は新卒49人、既卒73人の合計
122人。その内訳は107
人が小学校教諭、中学校教諭

2015年度就職率
【経営学部】 95.8% (316人/330人)
【法学部】 96.2% (177人/184人)
【教育学部】 99.2% (379人/382人)
合計 ▶ 97.3%

■保育士・教員の合格実績



■教員採用試験合格者数の推移

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度
19名	22名	41名	31名	53名
2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	合計
76名	112名	123名	122名	599名

学校法人白鷗大学 平成27年度決算報告

【事業活動収支計算書】平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

平成27年度事業報告より旧消費収支計算書は事業活動収支計算書へと名称変更しました。事業活動収支計算書は大きく分けて、経常収支としての①教育活動収支②教育活動外収支、そして③特別収支の3つの部門で計上されます。また、長期の収支バランスと共に毎年度の収支バランスを表示しています。

(単位:円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算額	決算額	差異
		学生生徒等納付金	5,755,456,000	5,743,420,428	12,035,572
	手数料	176,455,000	182,493,434	△ 6,038,434	
	寄付金	27,100,000	15,727,813	11,372,187	
	経常費等補助金	1,063,350,000	1,063,086,056	263,944	
	国庫補助金	393,290,000	393,159,544	130,456	
	地方公共団体補助金	670,060,000	669,926,512	133,488	
	付随事業収入	21,670,000	21,864,712	△ 194,712	
	雑収入	244,098,500	251,375,117	△ 7,276,617	
	教育活動収入計	7,288,129,500	7,277,967,560	10,161,940	
事業活動支出の部	事業活動支出の部	科目	予算額	決算額	差異
		人件費	3,697,900,020	3,682,667,916	15,232,104
	教育研究経費	3,468,210,162	3,364,622,382	103,587,780	
	管理経費	985,405,867	910,213,678	75,192,189	
	徴収不能額等	500,000	0	500,000	
	教育活動支出計	8,152,016,049	7,957,503,976	194,512,073	
	教育活動収支差額	△ 863,886,549	△ 679,536,416	△ 184,350,133	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算額	決算額	差異
		受取利息・配当金	308,503,500	312,322,231	△ 3,818,731
	その他の教育活動外収入	0	0	0	
	教育活動外収入計	308,503,500	312,322,231	△ 3,818,731	
事業活動支出の部	事業活動支出の部	科目	予算額	決算額	差異
		借入金利息	17,825,550	17,825,550	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	
	教育活動外支出計	17,825,550	17,825,550	0	
	教育活動外収支差額	290,677,950	294,496,681	△ 3,818,731	
	経常収支差額	△ 573,208,599	△ 385,039,735	△ 188,168,864	
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算額	決算額	差異
		資産売却差額	56,000,000	57,323,732	△ 1,323,732
	その他の特別収入	1,615,000,000	1,717,814,311	△ 102,814,311	
	特別収入計	1,671,000,000	1,775,138,043	△ 104,138,043	
事業活動支出の部	事業活動支出の部	科目	予算額	決算額	差異
		資産処分差額	280,000,000	338,236,596	△ 58,236,596
	その他の特別支出	243,200,000	285,446,485	△ 42,246,485	
	特別支出計	523,200,000	623,683,081	△ 100,483,081	
	特別収支差額	1,147,800,000	1,151,454,962	△ 3,654,962	
	〔予備費〕	(56,543,049) 13,456,951		13,456,951	
	基本金組入前当年度収支差額	561,134,450	766,415,227	△ 205,280,777	
	基本金組入額合計	△ 1,377,500,000	△ 1,657,750,099	280,250,099	
	当年度収支差額	△ 816,365,550	△ 891,334,872	74,969,322	
	前年度繰越収支差額	△ 4,564,808,884	△ 4,564,808,884	0	
	基本金取崩額	0	0	0	
	翌年度繰越収支差額	△ 5,381,174,434	△ 5,456,143,756	74,969,322	
	(参考)				
	事業活動収入計	9,267,633,000	9,365,427,834	△ 97,794,834	
	事業活動支出計	8,706,498,550	8,599,012,607	107,485,943	

【資金収支計算書】平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

資金収支計算書は、一年間の収入・支出ごとの資金の流れの総額を表したもので、資金収支の総額は189億5668万円であり、平成28年度への繰越支払資金は27億3471万円となっています。

(単位:円)

収入の部	科目	予算額	決算額	差異	
収入の部	学生生徒等納付金収入	5,755,456,000	5,743,420,428	12,035,572	
	手数料収入	176,455,000	182,493,434	△ 6,038,434	
	寄付金収入	351,300,000	325,711,494	25,588,506	
	補助金収入	1,224,550,000	1,321,748,056	△ 97,198,056	
	国庫補助金収入	553,290,000	651,155,544	△ 97,865,544	
	地方公共団体補助金収入	671,260,000	670,592,512	667,488	
	資産売却収入	3,204,000,000	3,211,239,340	△ 7,239,340	
	付随事業・収益事業収入	21,670,000	22,409,774	△ 739,774	
	受取利息・配当金収入	306,003,500	309,870,111	△ 3,866,611	
	雑収入	1,372,598,500	1,396,477,133	△ 23,878,633	
	借入金等収入	0	0	0	
	前受金収入	1,156,600,000	1,188,518,393	△ 31,918,393	
支出の部	その他の収入	2,995,152,445	3,118,754,614	△ 123,602,169	
	資金収入調整勘定(注)	△ 1,446,675,396	△ 1,570,415,495	123,740,099	
	前年度繰越支払資金	3,706,448,430	3,706,448,430	0	
	収入の部合計	18,823,558,479	18,956,675,712	△ 133,117,233	
	支出の部	人件費支出	3,654,300,020	3,644,479,520	9,820,500
		教育研究経費支出	2,717,010,162	2,643,895,053	73,115,109
		管理経費支出	859,405,867	805,311,420	54,094,447
		借入金等利息支出	17,825,550	17,825,550	0
		借入金等返済支出	113,880,000	113,880,000	0
		施設関係支出	1,037,560,000	819,993,213	217,566,787
		設備関係支出	834,500,000	751,264,442	83,235,558
		資産運用支出	7,082,000,000	7,252,364,447	△ 170,364,447
その他の支出		477,628,892	482,809,363	△ 5,180,471	
(56,543,049)				56,543,049	
予備費		13,456,951	-	13,456,951	
資金支出調整勘定(注)		△ 268,457,481	△ 309,856,020	41,398,539	
次年度繰越支払資金	2,284,448,518	2,734,708,724	△ 450,260,206		
支出の部合計	18,823,558,479	18,956,675,712	△ 133,117,233		

(注) 資金収入調整勘定及び資金支出調整勘定について

学校法人会計における資金収支計算の目的は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容当該会計年度における支払資金の収入及び支出とその年末を明らかにすることとされています。そのため収入・支出ともに調整勘定が設けられています。なお、資金収入調整勘定には期末未収入金及び前期末前受金、資金支出調整勘定には期末未払金及び前期末前払金を計上しています。

平成27年度決算について掲載します。この決算書は法人全体のものです。

をさらに強化するべく、創立100周年を迎えるにあたり、今後も急激に変化する社会に対応し、地域社会をはじめ広くわが国社会の各分野において活躍する国際性豊かな人材の育成と東日本震災を踏まえた学生生徒の安全な教育研究環境整備を目的として「耐震性を備えた校舎等の建築」、「既存施設の改修整備」、「語学教育・留学、チャレンジ企画、スポーツ等に係わる学生生徒への支援強化」を創立100周年記念事業として推進していくことといたしました。また同事業費への寄付金の呼びかけとして「学校法人白鷗大学創立100周年記念事業募金委員会」を立ち上げました。

れる思川の支流の豊穂川の氾濫により、本キャンパスおよび幼稚園は水深1.5メートルの水で覆われるという未曾有の大被害を受けました。

金として計上しました。また教育研究用機器備品支出は5億1589万円で、主なものは水害に伴うメディア設備、教育学部心理学およびスポーツ健康各専攻設備の備品購入、高等学校の校舎新築に伴う備品購入です。図書支出は4993万円で対予算4437万円の支出減でしたが、これは水害にあった図書のうち補助金等の関係により大半を次年度へ購入を延期したことによるものです。

平成28年3月現在、建物・構築物および教育研究用機器備品、他機器備品、車両などの被害総額は大学と幼稚園を併せて約15億1097万4千円、災害復旧費は概算金額で1億9644万4千円となりました。また、本年度以降も災害復旧に向けた設備調達を進めていく予定です。

平成27年度は、白鷗大学のルーツである「足利裁縫女学校」創設から数え、創立100周年を迎えました。100年の歩みを振り返りつつ、初代学長・上岡一嘉の語った「PLUS ULTRA(さらに向こう)」の教育理念をスローガンとして建学の精神の理解を深めるとともに、教育機関また地域につながる組織としてさらなる発展を遂げるために、法人の教育精神に沿った創立100周年記念事業を計画し遂行するプロジェクトチームを結成しました。

これまで重点的に取り組んできた白鷗らしさの樹立、未来を切り拓くリーダーの育成、そして地域及び国際社会との連携

【貸借対照表】平成28年3月31日

貸借対照表は、学校法人の期末における資産と負債・基本金・消費収支差額の状況を表し、財政状態を表しています。資産総額から負債総額を差し引いた「正味財産」は前年度より6億4498万円増加し、373億8951万円となりました。

(単位:円)

科目	本年度末	前年度末	増減
資産の部			
固定資産	32,303,315,748	31,170,031,282	1,133,284,466
有形固定資産	23,658,252,995	23,479,587,151	178,665,844
土	5,907,799,779	5,907,814,387	△ 14,608
建物	14,048,097,572	14,389,156,440	△ 341,058,868
構築物	1,160,206,259	877,027,025	283,179,234
教育研究用機器備品	1,089,572,849	750,592,649	338,980,200
管理用機器備品	209,278,183	160,751,729	48,526,454
図	1,094,872,417	1,188,283,267	△ 93,410,850
車	97,622,736	57,782,001	39,840,735
建設仮勘定	50,803,200	148,179,653	△ 97,376,453
特定資産	8,068,574,903	3,962,444,303	4,106,130,600
退職給与引当特定資産	700,645,603	660,645,603	40,000,000
減価償却引当特定資産	4,027,929,300	901,798,700	3,126,130,600
校舎改築引当特定預金	0	2,400,000,000	△ 2,400,000,000
第2号基本金引当特定資産	3,340,000,000	0	3,340,000,000
その他の固定資産	576,487,850	3,727,999,828	△ 3,151,511,978
借地権	291,394,657	291,394,657	0
投資有価証券	53,343,674	3,207,244,674	△ 3,153,901,000
その他の	231,749,519	229,360,497	2,389,022
流動資産	5,086,189,756	5,574,495,047	△ 488,305,291
現金預金	2,734,708,724	3,706,448,430	△ 971,739,706
有価証券	1,881,564,225	1,553,478,278	328,085,947
その他の	469,916,807	314,568,339	155,348,468
資産の部合計	37,389,505,504	36,744,526,329	644,979,175
負債の部			
固定負債	2,017,621,600	2,179,433,204	△ 161,811,604
長期借入金	1,300,000,000	1,500,000,000	△ 200,000,000
退職給与引当金	717,621,600	679,433,204	38,188,396
流動負債	1,777,111,340	1,736,735,788	40,375,552
短期借入金	200,000,000	113,880,000	86,120,000
前受金の	1,188,518,393	1,205,126,896	△ 16,608,503
その他の	388,592,947	417,728,892	△ 29,135,945
負債の部合計	3,794,732,940	3,916,168,992	△ 121,436,052
純資産の部			
基本金	39,050,916,320	37,393,166,221	1,657,750,099
第1号基本金	35,220,916,320	34,503,166,221	717,750,099
第2号基本金	3,340,000,000	2,400,000,000	940,000,000
第4号基本金	490,000,000	490,000,000	0
繰越収支差額	△ 5,456,143,756	△ 4,564,808,884	△ 891,334,872
翌年度繰越収支差額	△ 5,456,143,756	△ 4,564,808,884	△ 891,334,872
純資産の部合計	33,594,772,564	32,828,357,337	766,415,227

報告

水害からの復旧

—ラーニング・コモンズなど教育環境が充実—

皆様からのご支援、ご協力に
深く感謝申し上げます。

2015年9月9日、台風18号による記録的な集中豪雨のために、本キャンパス近くを流れる思川の支流である豊徳川が氾濫、本キャンパスでは全建物の1階部分が浸水する被害を受けた。

100周年の節目の年に未曾有の大災害が重なり、在学生、教職員共に大きな衝撃を受けたが、卒業生を含むボランティア、関係業者と共に復旧作業に取り組み、被害から2週間後、大学では予定通りに後期履修登録ならびに後期授業を実施した。一部施設の利用に制限が生じたが、大きな混乱もなく後期の学事を開始した。

総合図書館本館は地下

浸水した本キャンパス



水害から復旧したキャンパス (2016年4月撮影)



あったが、大幅な変更を余儀なくされた。これらの被害に鷗友会から、2号館1階ロビーに新設するモニターおよび家具の費用として100万円の寄付を受け、12月16日には常川朋之会長から贈呈があった。

「友人をつなぐ場」

その後、2016年4月には、本キャンパスの学生食堂「シエモア」を全面改修、約7ヶ月ぶりに営業を再開した。

4月1日に学生・教職員など学内関係者約100人を集めて行われたオープニングセレモニーで、学生委員長の三浦頭一郎教授は「今日という日を迎えられるのは、水害の復旧に学生をはじめ多くの方の力があつたからこそ。深く感謝申し上げます。学生食堂は、おいしい食事が提供されるだけでなく、友人をつなぐ場としてとて



リニューアルし、学生で賑わう「シエモア」



生まれ変わった図書館地下

も大切な場所」とあいさつした。このほか本キャンパス内にあるカフェ風学食「ボンパスト」も併せてリニューアルした。同じく4月、総合図書館本館の全てのフロアが利用可能となり、各種サービスも復旧した。地下には個人だけでなく、グループでの学習にも対応できる自習スペースを新設。電子黒板などの機器も導入し、「ラーニング・コモンズ」として、新たな学びの場を整備した。



電子黒板を使つての発表

創立100周年記念事業の二環 東キャンパス新校舎建設

「白鷗大学東キャンパス整備計画」を発表。東キャンパスの新校舎を鉄骨8階建てにすること、また同敷地内に同2階建ての体育館も増築することを正式に決定した。新校舎は2016年9月、体育館は同年11月に着工予定。現在の校舎に隣接する新校舎の延べ床面積は約1万5500平方メートル。新校舎の開所に伴って本キャンパスにある本部機能も移転する。移転後は法学部と経営学部の学生約3000人が東キャンパスで学ぶことになる。

当初、本キャンパスに建て替えが検討されていた体育館は、昨年の水害の影響や大半の学生が移ることから、東キャンパスへの建設が決まった。延べ床面積は約4500平方メートルで、新校舎と同時にオープンする予定。

一般の人でも利用可能な学生食堂や図書館を整備する計画。関係機関などと連携を図り、「(JR小山) 駅前の活性化にも役立てれば」と考えている。



新たに体育館が加わった完成予想図

教員人事

【昇格】
法学部 教授
高橋 義人
平山 真理

教育学部 准教授
荒井 信成
荒川 麻里
平野 晋吾
山野井貴浩

【異動】
(特任教授から教授へ)
経営学部 教授
菅野 嘉則

【新任】
法務研究科 教授
村岡 啓一
(任期3年)

経営学部 特任教授
新井佐恵子
後藤 謙次
元田 成

教育学部 教授
鈴木 仁里
助教
金井 正
山路 千華

【退職】
(平成28年3月31日付)
法務研究科 教授
角田 雄彦
法学部 特任教授
福岡 政行
教育学部 特任教授
須藤 稔

教育学部 教授
滝沢 謙三
准教授
福田 真奈

講師
五十嵐淳子
実習講師
阿部アサミ

◆進路支援センター、進路指導部、学習支援室、リゾン委員会の4部門を再編し、平成28年度よりキャリアセンターと改称。
飛田 幸宏(新任)

◆白鷗大学総合研究所に属する組織として2016年度より地域連携センターを開設。
奥澤 信行(新任)